

京都リーグの運営に関して、2022年12月4日付けで問い合わせいただいた件について、以下の通り回答いたします。

質問1

部によって5対戦、6対戦の違いがあるのはなぜでしょうか？7チームだからという安易な回答でしょうか？試合数の違いは不公平です。選手は公平にあつかうのではなかったですか？

回答

各部のチームを適正数のブロックに分ける場合、必ずしも同じチーム数で割り切れるとは限りません。当然のことながら、ブロックのチーム数に差が出てしまう場合があります。例年は、ブロック分けを協会側で行っていました。今回は、ブロック分けの透明性を理解してもらうために、当日の朝に公開で抽選することにしました。

質問2

ボールがダンロップフォートではなく違うボールでさせられましたが、どうしてでしょうか？大会試合球はダンロップフォートではなかったのでしょうか？大会試合球がダンロップフォートなので、それを前提に練習してきました。他のボールではやりたくありませんと申し出ましたが、却下されました。おかしくないですか？プログラムに明記してあります。大会前の説明で試合はすべてニューボールですと明言されていましたが、他のボールが嫌なら、セットボールを使ってくださいと、大変不愉快な思いです。

回答

この点につきましては、運営側の不手際です。試合数を読み違えて、必要なボール数を確保できていませんでした。納得いただけるよう丁寧に説明すべきところ、誠実に欠けた対応で不愉快な思いをさせてしまうことになり、誠に申し訳ありませんでした。また、不本意ながらも試合を続けていただいたことに、深く感謝申し上げます。今後は二度とこのような不手際がないように、運営にあたりたいと思います。

質問3

夕方近くになると練習無しになりました。サーブ4本の練習無しです。終わりがけの試合は練習無しというルールにいつなりましたか？何がこの大会のルールなのでしょうか？

回答

今回は多くの試合数を消化しなければならなかったため、朝の説明で試合前の練習は「1回目の試合のみ」でお願いしますと伝えてあります。本部のボードにも明記してありました。突然ルール変更をしたわけではありません。夕方近くの試合なら、どのチームも2対戦目のはずなので、試合前の練習は無しになっていたと思います。

質問4

ウェア等のチェックが、ある日と無い日があるのはなぜでしょうか？無い日は背中にでっかいマークのTシャツやスウェットでプレーされていました。

回答

ウェアのチェックは、毎回必ず行っています。代表者にも、チェックをお願いしていました。ロービングアンパイアや本部から確認できた段階で、当該選手や代表者には注意をしています。ただ、そのウェアしかないと言われた場合は、次回から注意してほしいとの警告にとどめ、着替えを強制したり失格にしたり等の措置はとっていません。なので、スルーされているように見えているかもしれません。ご指摘のように、チェックがある日と無い日があるわけではありません。注意喚起は、毎回必ずしています。

質問5

大会前の集合、抽選でチームの責任者がクラブハウスの2階に集められましたが、密集状態で説明されましたが、感染症対策のガイドラインは無視でしょうか？必要な説明は事前にHPで明記すれば、時間も手間も省けませんか？

回答

今回は、以下の理由で代表者に集合してもらう形をとりました。

- ①ブロック分けの抽選をする必要があった。
- ②運営に関する事前の問い合わせが多数あった。
- ③今回の経緯について、理事長より謝罪と説明をする必要があった。

大勢が狭い空間に集まることになり、密な状態が発生したことは事実ですが、マスクの着用や窓を開放して換気をするなど、感染症対策はとっていました。近距離で大勢の人が話し合いをするといった場面設定もしていません。理事長と担当者からの説明はありましたが、マスクを着用したうえで距離は十分とっていました。ガイドラインを無視していたつもりはありません。

HPへの掲載も考えましたが、十分ご理解いただける内容の文書作成が難しいことに加え、真意が伝わりにくいと判断し、集合形式での説明会を実施しました。

質問6

大会前の説明で、コロナで崩れた団体戦の形と言われましたが、コロナと団体戦は別だと思います。昇格ありの降格無しとコロナは別だと思います。協会が開催するのであれば、参加しないなら降格、コロナで開催するかしないかと、参加するかしないか別だと思います。

なので、このような混乱は協会が自ら招いたものではありませんか？以上、納得できる回答よろしくをお願いします。この質問は、SNSでも公表させていただきます。

回答

この点については、ご指摘のとおりです。特に昨年の大会は、参加・不参加に関わることや、降格・昇格に関わることについて、かなりの混乱を招くことになりました。的確な判断ができず、運営担当の意思統一も不十分であったと思います。協会としてもこのことを重く受けとめ、京都リーグ各部開催初日の説明会に理事長が出向き、各チーム代表の皆様に直接お詫びを申し上げました。ご理解いただけていないなら、言葉足らずであったと思います。

京都リーグの運営について再度見直し、シンプルでわかりやすい大会に改革して、今年からスタートしています。説明会でも申し上げた通り、すべての方に納得していただける内容でないかもしれません。また、システムが定着して、スムーズな大会運営ができるようになるのも、数年かかると思われます。このことにつきましては、ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

今後も多くの方のご意見を受けとめながら、京都リーグをはじめ、各大会をより良いものにできるように努力していきたいと思っています。

以上が、ご質問いただいたことに対する回答です。さらにご質問がありましたら、お問い合わせください。今回は文書での回答になりましたが、次回は直接お話をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

今回ご質問いただいた内容と回答につきましては、京都市テニス協会のHPに掲載します。個人が特定されないことがないように配慮します。

京都市テニス協会